

沼津市立病院経営強化プラン 第1回評価委員会の開催結果

1. 開催趣旨

令和6年2月に策定した「沼津市立病院経営強化プラン」（計画期間 令和6年度～令和9年度）では、病院事業の経営強化に取り組むことにより、公立病院が担っている不採算医療等を提供する役割・機能を確保しつつ、令和9年度までに経常収支を黒字化することを目標としている。

2. 概 要

(1) 評価委員会委員

	氏 名	所 属	職	実施日
委員長	杉山 聡	公立病院	病院長	令和7年7月7日
委員	岡本 浩嗣	大学	主任教授	令和7年7月11日
委員	田中 日出和	沼津医師会	会長	令和7年7月14日

(2) 委員からいただいた主な意見

ア 収益確保に関するもの

- ・「新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着けば、患者数は流行前に戻る」と言われていたが、そのようにならなかった。入院患者数を増やすためには、救急応需率を高くすることが考えられる。
- ・手術件数が持ち直してきているのは、病院長をはじめ、外科系の医師の尽力の結果によるもの。
- ・紹介、逆紹介の取組結果（紹介率・逆紹介率ともに80%超）を評価する。

イ 費用削減に関するもの

- ・後発医薬品を利用するなど費用削減の努力をしている。収益をあげながら費用を削減することは難しい。

ウ 全体的な病院運営に関するもの

- ・患者さんの待ち時間対策として、診察までの順番等がわかるような機能を有するスマートフォン用のアプリケーションを活用する。
- ・DXを進めるに当たっては、セキュリティの確保が障壁になる。
- ・認定看護師などの資格取得を支援することは、職員のモチベーションアップに繋がる。給与にインセンティブを付けることで、資格取得者は増加する。
- ・全体を通じて、現状の中でできることを精一杯行っているものと評価する。

- ・患者数の減少の主な理由は、人口減少ではないのでは。医師の働き方改革で医師数減少が病床数の減少に繋がり、悪循環に陥っているのではないか。

3. 今後の取組み

引き続き、「役割・機能の最適化と連携の強化」「医師・看護師等の確保と働き方改革」「経営形態の見直し」「新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組」「施設・設備の最適化」「経営の効率化等」の6つの項目に取り組み、経営強化を図っていく。

本プランで定めた数値目標に関しては、令和6年度の実績を踏まえ、見直しを検討する。